

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(境 谷) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	安全・衛生の確保	帰館後・昼食前・おやつ前の手洗い・うがいの励行	早く遊びたくて手洗いやうがいを忘れがちな児童に対して、習慣づけを行うことができた。その一方で、一度に大勢が殺到すると手洗い場が混雑し、安全面での課題もある。
	健康の管理・情緒の安定	朝の会やお帰りの会での健康チェック	ひとりひとりの所在を顔を見ながら確認したり、少ししんどいや喉が出るなど朝の会で確認している。元気がないなど、いつもと違った状態かチェックしている。
	基本的生活習慣の確立	補食としてのおやつ提供 整理整頓の指導 下館時の帰りの指導 あいさつの励行	おやつはできる限り自然のもの、バラエティーに富んだものを考えている。今まで食べなかった食品の名前を知る事が出来たりと食育にもつながった。 くつをくつ箱にしまう、かばんをロッカーに片付けるなどの基本的な生活習慣の指導を根気よく続けてきた。職員が声かけすることで習慣づけができてきている子が大半であるが、発達に課題を抱える子ども達への声掛けのしかた、動線の確保やハード面での工夫が課題である。 集団で帰ることの意味を繰り返し指導することで、子ども達の安全意識を高めることができた。
	社会生活技術の獲得	自己表現の指導 トラブル解決に向けての援助	「ただいま」「ありがとう」「ごめんね」など、きちんと言葉にして相手に伝えることの大切さを根気よく指導した。繰り返し伝えることで習慣づけられてきたが、1年生から6年生までと対象が広がってくるなかで、年齢や育ち、個性に応じた声掛けや対応の仕方を工夫していかなければならない。 子どもたちが自分の気持ちを整理したり、相手にわかるような言葉で伝えることができるように、機会を見つけては個別に指導を行った。少しずつ自分の気持ちを伝えることができるようになってきている。高学年の児童や、トラブルを繰り返す児童に対して、職員がもっとたくさんの引き出しを持てるようにしていくことが必要。
子 ど も 育 成 機 能	生活体験の拡大	入会式に向けての取り組み	入会式に向けて、プレゼント制作やリハーサルをすることで、新入会児童を温かく迎え入れる心の準備をさせ、かつ、上級生としての自覚を促すことができた。発達に課題のある児童などが取り組みに参加できるよう工夫が必要。
	社会性の養成	おわかれ会に向けての取り組み 春のおでかけ お誕生日会 地域との交流活動 高学年の取組	1年間の節目の行事に参加することで、自分自身や仲間との関係を振り返るよい機会となった。 春には福西公園へおでかけした。自然のなかでのんびり過ごすことができた。 お誕生日月の子ども達と相談してメニューを決めている。いつものおやつとは違う特別メニューを楽しみにしている子どもも多い。 敬老の日のプレゼント渡しやクリスマス会を合同で老人福祉センターと交流事業を行った。地域のまつりに参加し、地域住民との交流を深める事ができた。 高学年行事として、5.6年生だけのおでかけを企画・実行した。学年としての絆を深めたり、一体感を持たせることができた。
	自立の促進と自主性の尊重	グループ活動・当番活動 学年会議	行事ごとにいくつかのグループを作り活動している。新入会児童を連れて館内ツアーを行ったり、避難訓練学習をグループ事で考えたり、作業したりと幅広く色んな学年の子と交わる事が出来た。
			子ども同士で意見を出し合う機会を意識して設けた。日頃あまり自分の意見を言わない子が中心になって会議を進めたり、遊びの中で見るのとは違う一面を見ることができた。
子 育 て 支 援 機 能	子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだよりの発行	行事予定をお知らせしたり、写真からお誕生会や日々の子ども達の様子をお伝えする事が出来た。子どもによってはなかなか保護者におたよりを渡さなかったり、保護者が多忙などのために目を通すことができないケースが見られた。どの保護者にも情報がいきわたるようにすることが課題。
	子育ての仲間づくり	保護者懇談会の実施 個人懇談 個別育児相談	保護者懇談会では、学童クラブとは何か、学童クラブでの生活などの基本的事項の説明だけでなく、保育方針や館の思いも保護者に伝える機会とした。短い時間ではあるが保護者交流会を開催することができ、保護者同士のコミュニケーションを図る機会を持つことができた。 個人懇談では、日頃顔を見ることのできない保護者ひとりひとりとじっくり話すことで、子どもの家庭での様子や保護者の子育てに対する思いや悩みなどを聞き、館からは学童クラブでの子どもの様子を伝え、館や職員の思いを伝える機会となった。保育や事業のあるなかで、なかなか十分な時間をとることができず、保護者の話を十分に聞くことができないケースもあった。 保護者の子育てや家庭・学校生活などの個別相談を適宜行った。お迎えのときや保育中に来られるケースが多数で、落ち着いて話を聞けるスペースがないことが課題。
	子育てを支えるネットワーク形成	小学校との連携 地域との連携	低学年の帰館時や授業参観、運動場使用時など、日頃より小学校との連絡を密にするよう心掛けている。子どもの学校での様子を聞いたり、館での様子を伝えたりすることで、子どもの全体像の把握に役立っている。 老人福祉センターとの交流や、運営協力会会議、保育園や地域機関との共同イベントを通じて、地域との交流を図った。館以外での子ども様子を教えてください、日頃から見守って頂けるような関係ができています。

境谷児童館・学童保育所

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること